

## 介護施設における感染対策・感染症治療への薬剤師のかかわりに関する意識調査

アーク調剤薬局長野稲葉店<sup>1)</sup> 株式会社アーク・メディカル<sup>2)</sup>

○木村銘衣子<sup>1)</sup> 丹下信孝<sup>1)</sup> 久保田賢治<sup>2)</sup>

【目的・背景】様々な感染症が流行する昨今、アーク調剤薬局長野稲葉店では、介護の現場において感染対策や感染症治療において薬剤師にできることはないかと考え、介護施設における感染対策・感染症治療への薬剤師のかかわりに関する意識調査を行った。また、他職種における感染制御専門薬剤師・感染制御認定薬剤師の認知度も調査した。

【方法】アーク調剤薬局長野稲葉店が居宅療養管理指導を算定する患者が入居している介護施設の介護・看護職員や、その患者が利用している訪問看護ステーションの看護師を対象に、アンケート調査（無記名自記式質問紙法）を行った。

【結果】アンケート回収率は76.8%（53/69）であった。感染対策や感染症治療において薬剤師に助言や協力を期待すると回答したスタッフは96.2%（51/53）で、その内容については看護師・介護士とも「抗微生物薬（抗菌薬・抗ウイルス薬）の適正使用」「感染症治療（薬）」が最も高く、介護士においては「アウトブレイク時の対応」も高かった。また感染制御分野における認定薬剤師制度の認知度は5.7%（3/53）であった。

【考察】多くの介護・看護スタッフが感染対策や感染症治療において薬剤師の協力を期待していた。認定制度の認知度は低かったものの、専門性に期待するという意見もあり、感染対策が重要視される中、介護施設における感染制御専門・認定薬剤師の果たせる役割は大きいと考えられる。